

緊急案内



リフォーム詐欺には気を付けて！

リフォーム詐欺は全国的に知られるようになってきましたが、被害は一向に減りません。なぜなら、悪徳業者も悪知恵を絞って巧みな言い回しをして契約に結びつけようとするからです。今回は、少しでも被害が増えないよう悪徳業者のよくやる手口を伝えていきたいと思います。

「屋根裏を無料で点検しにきました」

「屋根にヒビが入っているから明日工事にきます」

「ただ今キャンペーン価格でやっております」

悪徳業者の手口の大半が

『恐怖心をあおる』『すぐに金額を提示する』『契約を急ぐ』

といった特徴があります。

また、見た目からも悪徳業者とは判断がつかないほど柔らかい物腰でいってくることも多く、実際に騙されてしまった方も、相手が親切に説明してくれるものだから安心してしまい頼ってしまったという話も聞きました。

では、どうすればいいのか・・・対策法としては以下が有効とされています。

①基本は「見積書」。出来れば手渡しでもらおう！

悪徳業者を見抜くだけでなく、見積書をきちんと説明してもらうことは、非常に重要な点です。相見積もりを洗ったり、工事内容の説明があいまいな業者は、悪徳業者の可能性が高く選ぶべきではありません。必ず「見積書」をもらい、納得できるような説明をしてもらいましょう。

②不良箇所の説明は、写真や書面にまとめてもらおう！

建物の傷んでいる箇所を説明してもらうときは、その場で写真見せられても、「報告書」にまとめてもらうように、業者い依頼してみるのをお勧めです。こうすることで、普段から施主に対して、わかりやすく説明しているかどうかわかりますし、悪徳商法を繰り返している業者は証拠を残すことを嫌いますので、業者の良し悪しはこういったことから見抜くことが可能です。

③絶対にその場では契約せず、不審に思ったら他業者にも見てもらおう！

悪質なリフォーム業者は、とにかく契約を急がします。「今日、契約してくれば〇〇万円値引きします！」などと、いとも簡単に大きな金額を値引く傾向にあります。こんなにも簡単に値引きができることは、提示している金額そのものが大雑把であり、根拠の無い価格であることを証明しているようなものです。

不審に感じたらあいまいな返事をせず「知っている業者がいるので、一度相談してみる。」などとキッパリ断りましょう。

